

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月16日 (2016.6.16)

【公表番号】特表2016-511439(P2016-511439A)

【公表日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2015-561537(P2015-561537)

【国際特許分類】

G 0 2 B 23/16 (2006.01)

G 0 2 B 23/12 (2006.01)

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 7/06 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 23/16

G 0 2 B 23/12

G 0 2 B 7/02 D

G 0 2 B 7/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月18日 (2016.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部表面と、該内部表面から外側に延在するハウジングフランジとを有するハウジング  
 囲繞体と、

外部表面を画成する本体と、該外部表面から外側に延在するレンズセル・ホルダフラン  
 ジとを含むレンズセル・ホルダであって、前記レンズセル・ホルダフランジは、前記ハウ  
 ジングフランジとリテイナとの間に位置決めされ、該リテイナが前記ハウジングフランジ  
 に固定されている光学デバイスの組立形態において、該レンズセル・ホルダの径方向の動  
 きを阻止すべく、前記リテイナは、前記ハウジングフランジを取り囲み、前記ハウジング  
 フランジと直接的な物理的接触にて接触される、というレンズセル・ホルダと、

前記レンズセル・ホルダに取付けされた一枚以上のレンズを有するレンズ・アセンブリ  
 であって、該レンズ・アセンブリは前記ハウジング囲繞体および前記レンズセル・ホルダ  
 に関して軸心方向に並進すべく構成されるというレンズ・アセンブリと、

前記レンズセル・ホルダの外部表面と、前記ハウジング囲繞体の内部表面との間に画  
 成される径方向スペースであって、前記ハウジング囲繞体に関する前記レンズセル・ホル  
 ダおよび前記レンズ・アセンブリの径方向の調節に適應すべく寸法設定されたという径方  
 向スペースとを備える光学デバイスであって、

当該光学デバイスの照準線を調節するための調節形態においては、前記レンズセル・ホ  
 ルダフランジは前記ハウジング囲繞体のハウジングフランジに当接して位置決めされ、前  
 記リテイナは前記ハウジングフランジに固定されておらず、前記レンズセル・ホルダと前  
 記レンズ・アセンブリとは、前記径方向スペース内で径方向に可動とされており、

当該光学デバイスの照準線は、前記リテイナが前記ハウジングフランジに固定される当  
 該光学デバイスのアセンブリ形態において確立される、

光学デバイス。

**【請求項 2】**

前記レンズセル・ホルダと前記レンズ・アセンブリとの間に位置決めされると共に、前記ハウジング囲繞体内への異物の進入を制限すべく構成されたO-リングを更に備える、請求項 1 に記載の光学デバイス。

**【請求項 3】**

前記ハウジング囲繞体に対する前記レンズ・アセンブリの軸心方向位置を調節するための視度焦点合わせリングを更に備える、請求項 1 に記載の光学デバイス。

**【請求項 4】**

前記視度焦点合わせリングは、前記レンズ・アセンブリのフランジ上に当接するフランジであって、該視度焦点合わせリングの回転時に前記レンズ・アセンブリを前記ハウジング囲繞体に対して軸心方向に並進させるというフランジを含む、請求項 3 に記載の光学デバイス。

**【請求項 5】**

前記レンズ・アセンブリは、前記ハウジング囲繞体から離間する方向にスプリングにより付勢される、請求項 4 に記載の光学デバイス。

**【請求項 6】**

前記視度焦点合わせリングは、前記レンズセル・ホルダに対して回転可能に取付けられる、請求項 3 に記載の光学デバイス。

**【請求項 7】**

時計方向および反時計方向の両方における前記視度焦点合わせリングの回転を制限すべく構成された視度停止リングを更に備える、請求項 3 に記載の光学デバイス。

**【請求項 8】**

前記視度停止リング上の少なくとも一つの突出部であって、前記視度焦点合わせリング上の突出部と相互作用して該視度焦点合わせリングの回転を制限するという少なくとも一つの突出部を更に備える、請求項 7 に記載の光学デバイス。

**【請求項 9】**

前記視度停止リングは、前記リテナ上に回転不能に位置される、請求項 7 に記載の光学デバイス。

**【請求項 10】**

前記リテナと前記レンズセル・ホルダとの間に位置決めされると共に、前記ハウジング囲繞体内への異物の進入を制限すべく構成されたO-リングを更に備える、請求項 1 に記載の光学デバイス。

**【請求項 11】**

当該光学デバイスは単眼鏡である、請求項 1 に記載の光学デバイス。

**【請求項 12】**

当該光学デバイスは暗視単眼鏡である、請求項 1 に記載の光学デバイス。

**【請求項 13】**

前記レンズセル・ホルダのフランジは、前記レンズセル・ホルダの本体から径方向に延在する、請求項 1 に記載の光学デバイス。